



宮永岳彦記念美術館だより

2020 6月

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100

常設展示室

市民ギャラリーのご案内

入場無料

宮永岳彦が描く四季の花

思い出の花園

2020年2月28日(金) ▶ 8月23日(日)

中止 秦野写真連盟

6月9日(火)~6月14日(日)

中止 丹沢写真クラブ

6月24日(水)~6月28日(日)

展示作品より今月の一点
『『チャイルドブック』1966年6月号表紙』



幼児向けの月刊絵本「チャイルドブック」の表紙に使われたもので、あじさいやちょこんと座ったかえる、かばんをさげたカラフルなカタツムリ、今にも転がり落ちてしまいそうな葉の上の雨粒など、梅雨の時期にぴったりで、宮永らしい楽しさがちりばめられた1枚です。

宮永の童画はどれも見ていると思わず微笑んでしまうような愛らしいものですが、特に「チャイルドブック」の表紙は、登場する生き物たちが生き生きとしていて、眺めているとそれらが動き出して物語が始まりそうです。

宮永が描いた季節ごとのかわいらしい表紙を見て子供たちはどんなお話を作ったのでしょうか。

本展示では「チャイルドブック」の表紙を飾った原画を他にもご覧になれます。ぜひ美術館でお楽しみください。

表紙原画 1966年 53.0×38.0cm

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

美術館へのアクセス

◆ 小田急線鶴巻温泉駅より徒歩2分

◆ 駐車場 弘法の里湯と共用 1時間150円、以降30分ごとに100円

《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641

※6月2日(火)より12月分までの予約を受け付けています。

開催中の『思い出の花園』にちなんで、花についてのエッセイを連載します。今回は、梅雨の風物詩アジサイについてです。



今月の花 「アジサイ」

6月の花といえば誰もが連想するのがアジサイでしょう。宮永も月刊誌の表紙によく登場させています。

梅雨の庭を美しく彩るアジサイは、古くから日本で愛されてきました。今ではヨーロッパやアメリカで日本のアジサイが品種改良され、ハイドランジア(西洋アジサイ)として母の日などの贈呈用に販売されています。園芸品種のアジサイは花(正確にはガクが花弁のように変化した装飾花)が大きく、八重咲きや、花弁の縁が色濃く2色咲きになっているものや、従来にないパステルカラーの花色のものなど多様です。



宮永の童画ではアジサイにカタツムリが合わせて描かれていることが多いですが、アジサイの葉には毒があるためカタツムリが葉を食べることはありません。カタツムリにとっては大きな花や葉がちょうどいい日よけや雨よけになるようです。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館していましたが、6月1日(月)より再開いたしました。なお、開館時間が変更になる場合がございますので、詳しくは美術館のホームページをご確認いただくか、美術館へお問い合わせください。

※ 6月の休館日 : 8日(月) 15日(月) 22日(月) 29日(月)